

緑の風 FAX版



NO. 3 2021年6月23日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

沖縄戦から76年「慰霊の日」

第二次世界大戦末期、3ヶ月にわたる沖縄地上戦で、日米合わせて約20万人が死亡し、一般の住民は約9万4000人が犠牲になった。そして、76年前の6月23日に沖縄戦は終結した。1972年、本土復帰以降も基地の負担は沖縄に集中している。



昨年につき、コロナ禍のために、沖縄県主催の「沖縄全戦没者追悼式」は規模を大幅に縮小して開催されるということです。

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっている今、当たり前前の生活を当たり前前にできる幸せ、命の大切さを改めて感じている人が多いと思います。

何事もない当たり前前の日常は、平和でなければつくり出すことはできません。

JR 東労組は、沖縄平和研修で現地に立ち、戦争の悲惨さ、平和の尊さを学んできました。「慰霊の日」を迎えるにあたって、平和とは何か、二度と戦争を起こさないために何ができるのかをそれぞれが考えてみましょう。

そして、コロナ収束後の社会においても、平和で安心して暮らせる社会をみんなで作っていきましょう。

月桃の花



月桃

月桃ゆれて花咲けば
夏のたよりは南風

緑はもえるうりずんの
ふるさとの夏

月桃白い 花のかんざし
村のはずれの石垣に

手にとる人も今はいない
ふるさとの夏

摩文仁の丘の祈りの歌に
夏の真昼は青い空

誓いの言葉今もあらたな
ふるさとの夏

6月23日待たず
月桃の花散りました

長い長い煙たなびく
ふるさとの夏

香れよ香れ 月桃の花
永遠に咲く身の花ごころ

変わらぬ命 変わらぬ心
ふるさとの夏 ふるさとの夏

作詞・作曲 海勢頭豊